

DE&I チームへの問い合わせ Q&A

わたしたち実行委員は学術大会の運営にあたり、DE&I すなわち、多様性(Diversity)、公平性・公正性(Equity)、包括性(Inclusion) を意識して取り組んでおります。DE&I について、学会員はじめ学術大会に関わるすべてのみなさんから学び、みなさんからの声を届けていただきながら、共に学術大会を創っていきたいと思っています。その一環として、実行委員 DE&I チーム宛の問い合わせフォームを設置しました。大変貴重なご意見やご質問をいただき、運営にあたりお力を貸していただきました。ありがとうございました。一部 Q&A 形式でまとめさせていただきましたので、ご活用ください。

DE&I 提言ページはこちら <https://plaza.umin.ac.jp/jpca2024/de-i/index.html>

DE&I チームや活動についてはこちら <https://www.primarycare-japan.com/newsdetail.php?nid=830>

Q. DE&I チームの目的、対象者について教えてください

A. 学術大会テーマが「誰一人取り残さない持続可能なプライマリ・ヘルス・ケアに向けて」であることを踏まえ、実行委員会として初めて DE&I チームを設置しました。本大会においては、わたしたち実行委員が、学術大会の運営に際して、DE&I を意識的に取り組むことに主眼をおいて活動しています。その際に、対象としているのは、学会員はじめ学術大会に関わるすべてのみなさんです。参加したいと思っただけの学術大会にしていくことは当然ながら、学会員・非学会員に限らず、プライマリ・ケアに関心をもち参加したいと思った方が、参加を諦めてしまわないような対応や取り組みを検討しています。学会で扱うテーマに関しても着目して企画・運営をしております。

Q. 軽度の聴覚障がい者に対する配慮について教えてください

A. 今回はオープンスペース（展示場）で行うセッションは、6月8日に行われる学会ジョイントプログラム2のみとなっております。それ以外のセッションはオープンスペースでは行わず、セッション中のアナウンスもございません。

ポスター発表に関してですが、本大会では多数の演題応募をいただいております。発表数も非常に多くなっております。音の重なりができるだけ生じないような配置、順番を考慮していますが、どうしても一定の重なりは生じてしまう可能性があります。マイクを使用しないため、発表される演者の近くで聞いていただくことが必要かもしれません。ワークショップな

ど SGD の形で参加するセッションも同様に、聞こえやすい場所でご参加いただけるよう、各セッションのスタッフに声をかけていただけますと幸いです。

また、ポスター発表が行われる展示イベントホールではアートスペースがございます。本来は音の出ない形でのイベントを組むべきと存じますが、アートスペースでは企画上、いくつか音の出るイベントがございます。もちろん大音量のイベントは用意しておりませんし、できるだけ音の干渉がないよう配慮したタイムテーブルを設定しておりますので、何卒宜しくお願い致します。

Q. 色弱者を含めた視覚障害者の配慮について教えてください

A. 標準化までは至らないかもしれませんが、発表演者には色調や文字のサイズに関する配慮を、下記のように具体的にお願いしております。

大会 HP<配慮のお願い> ; <https://plaza.umin.ac.jp/jpca2024/abstracts/idx03.html>

Q. 子どもとの参加方法について教えてください

A. 多数お問い合わせいただき、お子様との楽しみ方の様々な選択肢をホームページでも提案させていただきました。

<https://www.primarycare-japan.com/news-detail.php?nid=836>

なお、案内がわかりづらく大変申し訳ありませんが、小学生以上のお子様は参加登録が必要です（参加費は無料）。小学生は、学生証の代わりに生年月日がわかるような保険証などの書類をアップロードください。

お問い合わせフォームは6月5日（水）で締め切りますが、学術大会中にお困りの方は、コンシェルジュデスクや、LINE の open chat などを是非ご活用ください。学術大会参加後は、是非、こちらのフォーム(<https://forms.gle/RerbUkUGJHUwLHfd6>)から実行委員 DE&I チーム宛にご感想やお気づきの点を教えてください。